

平成18年度 事業評価書

地 域 名	神奈川県川崎市	選定年度	H17年度	事業規模	大規模事業
まちづくり協議会名	かわさき都心部循環型まちづくり協議会				
モデル事業名	かわさき都心部循環型まちづくりモデル事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	H17年度	普及啓発事業として、かわさき地球環境フォーラムを開催。また、地下街集合店舗の環境配慮調査を実施。
	H18年度	普及啓発事業として、かわさき地球環境フォーラムを開催。また、エコライフチャレンジボードなどの環境教育教材やリーフレット等を作成。
交付金事業	H17年度	かわさき都心部循環型まちづくりモデル事業(高効率空調システム導入工事)として、川崎地下街アゼリアに「水和物スラリ蓄熱空調システム」を導入(第1期)
	H18年度	かわさき都心部循環型まちづくりモデル事業(高効率空調システム導入工事)として、川崎地下街アゼリアに「水和物スラリ蓄熱空調システム」を導入(第2期)

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>川崎市における循環型、脱温暖化のまちづくりに向けての先導的モデルとして、JR川崎駅前地下街の省エネを推進し、地球温暖化対策の促進を図る事業。</p> <p>ソフト事業において、地下街での省エネの取組を普及啓発に活用するなど、ソフト事業とハード事業の連携強化に一層努められたい。</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考	
	目標値	1,188	
	実績値	—	3期工事終了後に稼働
(目標値・実績値単位:t-CO2/年)			
	<p>ハード事業については、3カ年で高効率空調システムによる省エネルギーシステムを導入し、平成20年度以降検証する予定。</p> <p>ソフト事業については、イベント参加後のアンケート調査により家庭部門の削減効果の把握に努めるなど、工夫が見られる。</p>		
③経済活性化効果	<p>ハード事業については、3カ年で高効率空調システムによる省エネルギーシステムを導入し、平成20年度以降検証する予定。</p> <p>ソフト事業については、イベント参加後のアンケート調査により家計における一定の効果が推計されているが、導入した商店街で積極的に取り組むように努められたい。</p>		
④その他			